

# Part2 DX実装編

## 募集要項・お申込み

本セミナーのPart1 観光経営編は令和4年8月に実施されました

目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>本セミナーは観光事業を取り巻く環境変化に対応しDXの考え方・技術を活用し事業展開を実行する「観光DX人材」育成を目指します。</li> <li>今回のPart2 DX実装編はPart1観光経営編で実施した講義・演習をもとに、さらに発展させた講義と、観光事業の代表的な課題・リアルな課題に取り組む実技演習を集中的に実施します。</li> </ul>
開催日程	令和5年2月7日(火),8日(水),9日(木)および2月27日(月),28日(火)
開催形式・場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面・オンライン(Zoom)の選択制</li> <li>対面の場合、京都大学経営管理大学院(京都市左京区吉田本町)*演習中心のセミナーですので、状況が許せば、対面受講をお勧めします。</li> </ul>
申込み・受講料	おひとり20,000円 *Part1、Part2を一括申込みいただいた方はお申込み不要です。
受講対象者	原則として京都府内に勤務地がある観光関連事業に従事されている方
定員	20名(定員になり次第締め切らせていただくことがあります)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要条件を満たした方には、(公社)京都府観光連盟会長および京都大学経営管理大学院経営センター長より受講証明書を授与いたします。</li> <li>本セミナー受講後に、受講レポートを提出していただくことを予定しております。テーマや形式については、オリエンテーションでご説明いたします。</li> </ul>
申込み方法	<p>受講をご希望の方は、下記ウェブサイトより「申込フォーム」または「申込書の郵送」いずれかにてお申込ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ウェブサイト：<a href="https://kbrc.jp/biz/tourism/index.html">https://kbrc.jp/biz/tourism/index.html</a></li> <li>●申込先：(社)京都ビジネスリサーチセンター 京都府観光経営セミナー事務局 (住所)〒606-8501 京都市左京区吉田本町36-1 (メールアドレス) <a href="mailto:kbrc-office.k20@kbrc.jp">kbrc-office.k20@kbrc.jp</a> (電話) 075-753-3543</li> <li>●締切：令和5年1月30日(月)</li> </ul>



※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催日や開催場所の変更が生じる場合がございます  
また、同感染症の状況によっては、講座の授業形式をすべてオンライン授業に変更する場合がございます

# 令和4年度 京都府 観光経営 セミナー

# Part2 DX実装編

令和5年

2月7日(火),8日(水),9日(木)

27日(月),28日(火)



### 京都大学にて開催

(京都市左京区吉田本町)

## 対面・オンライン(zoom)の選択制



参加希望者は、裏面の募集要項を参照いただき、QRコード、下記セミナーウェブサイトよりお申込みください：  
<https://kbrc.jp/biz/tourism/index.html>

お申込み  
お問合せ

一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター

京都市左京区吉田本町36-1  
(京都大学経営管理大学院内)


京都府観光経営セミナー事務局 Tel. 075-753-3543 E-mail [kbrc-office.k20@kbrc.jp](mailto:kbrc-office.k20@kbrc.jp)

主催 公益社団法人 京都府観光連盟 Kyoto Tourism Federation 共催 京都府 協賛 京都大学経営管理大学院 経営研究センター

本事業は、京都府が厚生労働省の「地域活性化雇用創造プロジェクト」の採択を受け、観光入込客の増加等により事業拡大が見込まれる一方で、人手不足や非正規雇用の問題を抱える観光産業分野において、産業政策と雇用政策を一体的に推進することにより、正規雇用の創出を目指すものです。

# 令和4年度 京都府観光経営セミナー Part2 DX実装編 講義スケジュール

2/7 (火)	10:00-10:20	開講挨拶	京都府観光連盟
	10:20-11:40	オリエンテーション	前川佳一 京都大学
	13:00-14:20	DX応用-1・2	松井啓之 京都大学
	14:40-16:00		
2/8 (水)	9:30-10:50	システム開発演習-1・2・3	村野剛太 東京海上日動システムズ
	11:10-12:30		
	13:40-15:00		
2/9 (木)	9:30-10:50	システム開発演習-4	村野剛太 東京海上日動システムズ
	11:10-12:30	デザイン思考	藤田哲雄 京都大学
	13:40-15:00	プロジェクトマネジメント演習-1・2	廣澤健樹 ANAシステムズ
	15:20-16:40		
	16:40-17:00	リアル課題等のアンケート説明	
2/27 (月)	9:30-10:00	オリエンテーション	前川佳一 京都大学
	10:00-10:50	リアル課題演習-1・2・3	香山哲司 NEW3コンサルティング 篠原洋輔 S-イノベーション・デザイン 前川佳一 京都大学
	11:10-12:30		
	13:40-15:00		
2/28 (火)	9:30-10:50	受講生発表&講評	香山哲司 NEW3コンサルティング 篠原洋輔 S-イノベーション・デザイン 前川佳一 京都大学
	11:10-12:30		
	13:40-15:00	まとめ	前川佳一 京都大学
	15:00-15:30	修了式	



経済産業省の「DX推進指標」（2019年）によると、「あらゆる産業において、新たなデジタル技術を利用してこれまでにないビジネスモデルを展開する（中略）デジタルトランスフォーメーション（DX：Digital Transformation）をスピーディーに進めていくことが求められている」とされています。

では観光業界にとってのDX、あるいはそれぞれの組織にとってのDXとはいったいどんなものであるべきなのか。それをしっかりと見定めたくえで適切な行動を起こすことが、DXが単なる流行り言葉やパスワードに終わらない、意義のある課題解決や改革とするために必要なことなのでしょう。

本セミナーでは、経営学の諸理論（経営戦略、マーケティング、経営組織、財務会計など）の基礎を理解していることを前提として、観光事業の事業課題に即したDXの実践を疑似体験していきます。まずDXの理念や事例を再確認します。次にITベンダーの講師の指導の下、システム開発のプロセスをモデル化及び単純化することで、疑似的に体験します。そして、受講者の組織にとって必要なDXの実践を構想する演習を行います。

こうしてセミナー終了後には、受講者それぞれのDX活用の具体案を持ち帰り、現場で実践していただけることを期待しています。

京都大学経営管理大学院  
特定教授 前川佳一

## オリエンテーション

【概要】  
本セミナーの監修・総括を担当する前川佳一先生より、各講義の構成と狙い、受講生の貴方に学んでいただきたいポイントを紹介します。

【前川先生の専門分野】  
イノベーション、サービス経営、観光

## DX応用

松井啓之



【概要】  
Part-1「DX基礎」での学びの振り返りをおこなった後、観光マーケティングや経営戦略等を実践する上で、DX活用の重要性及びそのためのDX手法・システムと実践する上でのポイントを学びます。

【松井先生の専門分野】  
計画理論、意思決定支援、ゲーミングシミュレーション

## デザイン思考

藤田哲雄



【概要】  
顧客視点で、観光のサービス・プロダクトの本質的な課題・ニーズを発見し、課題を解決する思考法を学びます。

【藤田先生の専門分野】  
情報技術戦略論、イノベーション

## システム開発演習

村野剛太



【概要】  
自身の事業を変革することを想定し、観光関連事業の経営・運営上の課題を取り上げ、DX手法を用いてソリューションを導き出すプロセスを体験していただきます。

【村野先生の専門・担当】  
東京海上日動システムズ(株) デジタルイノベーション本部長として、主にITの立場から東京海上グループのDXを推進

## プロジェクトマネジメント演習

廣澤健樹



【概要】  
観光のサービス・プロダクトを作る「プロジェクト」を成功に導くには適切な「プロジェクトマネジメント」が必須です。プロジェクトマネジメントの世界標準である「PMBOK」を通じて、必要なプロセスや知識の全体像と実践における注意点を学びます。

【廣澤先生の専門・担当】  
航空系ITシステム開発のプロジェクトマネジメント

## リアル課題演習

香山哲司



篠原洋輔



前川佳一



【概要】  
2月7日～9日に実施した開発演習を前提として、実際の課題を構想するために、以下の演習に取り組んでいただきます。

- 課題発想のためのヒント（観光施設のDX事例、DX時代の情報セキュリティなど）や課題分析ツールをもとに、グループで討議して発表
- さらにそれを受講者個人の場合に当てはめて考察しその構想を発表

【香山先生の専門・担当】  
DX推進、情報セキュリティ：醍醐寺におけるDX推進 自治体、民間企業での情報セキュリティ計画・実装支援

【篠原先生の専門・担当】  
企業等の経営戦略策定・実行支援、組織力強化・組織改革支援、顧客価値創造支援、醍醐寺における企画・組織改革の推進

## 受講生発表&講評

【概要】  
各受講生が、Part2の講義・演習を通じて検討した内容や、今後、自身が取り組みたい課題へのDX応用について発表を行い、講師から講評・アドバイスを受けます。

## まとめ

【概要】  
Part2の講義・演習の意図した目的・内容を振り返り受講生がセミナーを通じて得られた気づきや今後の自業務への反映について発表し共有します。

また、その発表をもとに各受講生が作成する「課題レポート」について説明し、後日提出していただきます。